

平成 24 年度「学力向上のための P D C A サイクルづくり支援事業」
P 調査分析結果について

教 学 指 導 課

1 調査教科及び調査した児童生徒数

() 内は全体に対する割合

| | 国語 | 算数・数学 | 英語 |
|---------|------------------|------------------|------------------|
| 小学校 4 年 | | 11,955 人 (59.4%) | |
| 小学校 5 年 | 15,724 人 (76.2%) | 15,728 人 (76.2%) | |
| 中学校 2 年 | 14,960 人 (72.9%) | 14,976 人 (73.0%) | 15,133 人 (73.7%) |

参考；全県 小学校 4 年 20,118 人 5 年 20,635 人 中学校 2 年 20,528 人

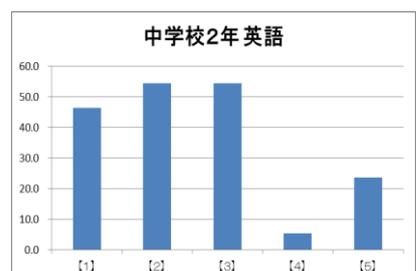
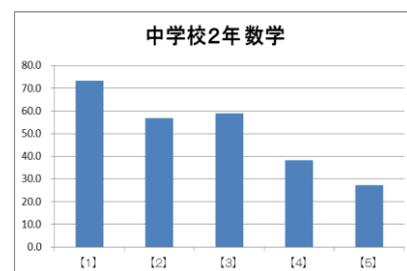
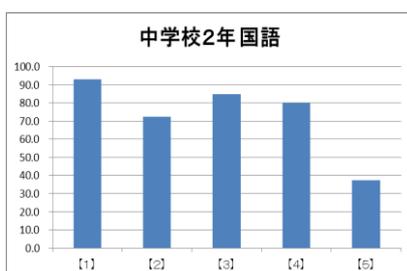
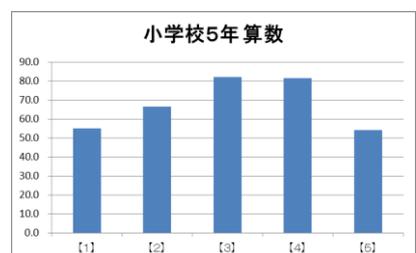
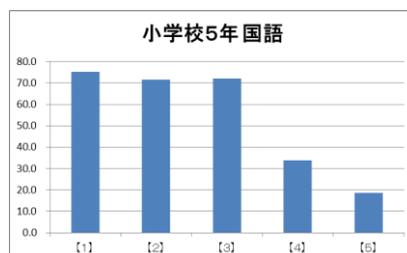
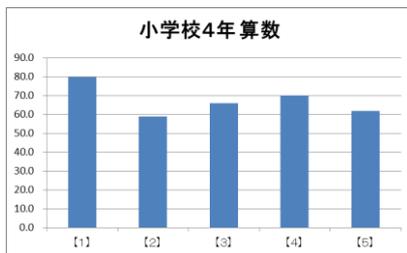
過去の参加状況

| | | 国語 | 算数・数学 | 英語 |
|------------------|---------|----------|----------|----------|
| 平成 23 年度 P 調査 | 小学校 5 年 | 14,437 人 | 14,428 人 | |
| | 中学校 2 年 | 13,651 人 | 13,470 人 | 13,571 人 |
| 平成 22 年度 P 調査 | 小学校 5 年 | 14,047 人 | 14,041 人 | |
| | 中学校 2 年 | 11,245 人 | 11,227 人 | 11,356 人 |

2 各問の正答率

(単位%)

| 問題番号 | | 【1】 | 【2】 | 【3】 | 【4】 | 【5】 |
|---------|----|------|------|------|------|------|
| 小学校 4 年 | 算数 | 79.9 | 59.0 | 66.1 | 70.2 | 61.8 |
| 小学校 5 年 | 国語 | 75.1 | 71.4 | 71.9 | 33.9 | 18.6 |
| | 算数 | 55.0 | 66.6 | 82.1 | 81.5 | 54.3 |
| 中学校 2 年 | 国語 | 93.0 | 72.3 | 84.9 | 80.0 | 37.3 |
| | 数学 | 73.4 | 56.8 | 58.9 | 38.4 | 27.3 |
| | 英語 | 46.4 | 54.4 | 54.4 | 5.4 | 23.5 |



(1) 経年変化をみる問題について

<小学校5年算数【1】(小数+整数の基礎的な計算の技能をみる問題)>

1.4 + 3 を計算しなさい。

P 調査参加学校数

| | |
|-------|------|
| 小学校4年 | 242校 |
| 小学校5年 | 298校 |
| 中学校2年 | 149校 |

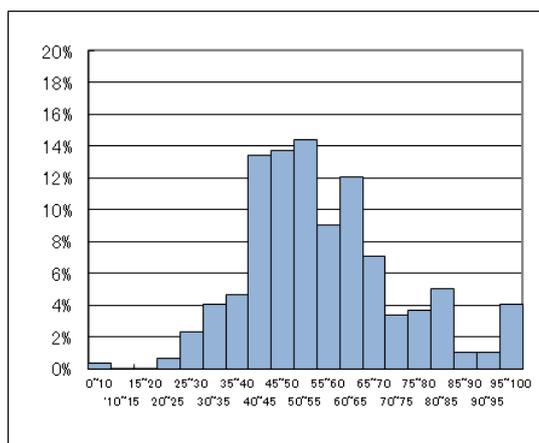
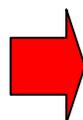
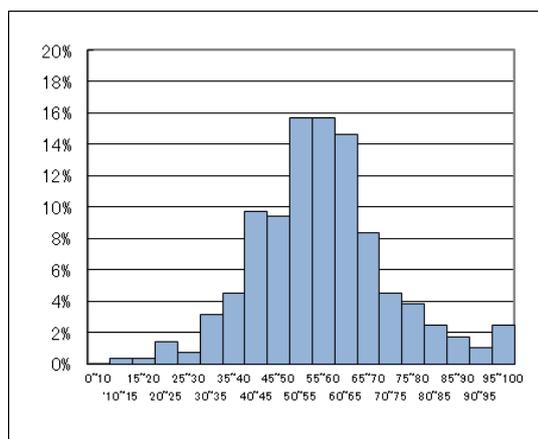
○正答率の経年変化

平成23年度 56.4% → 平成24年度 55.0%

○学校ごとの正答率の分布 (縦軸は学校数の相対度数、横軸は正答率)

平成23年度

平成24年度



昨年度とほぼ同様の正答率となった。誤答例をみると、「1.7」としている児童が2割程いる。位取りを意識せず4と3を単純に足してしまう誤答であり、機械的に計算してしまっていることが原因と考えられる。小数+整数の計算の意味を考えて、位をそろえて計算することの理解を一層定着させたい。

<中学校2年数学【2】(基本的なグラフについての理解をみる問題)>

比例の関係 $y = -2x$ のグラフをかきなさい。

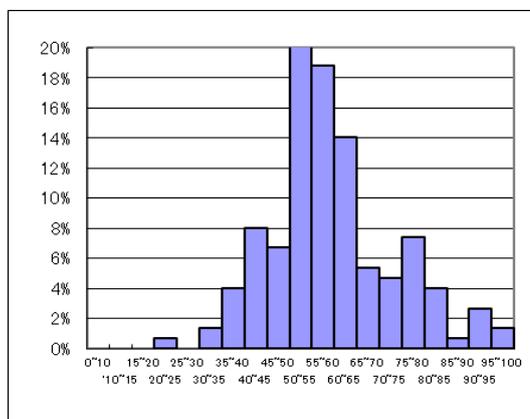
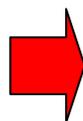
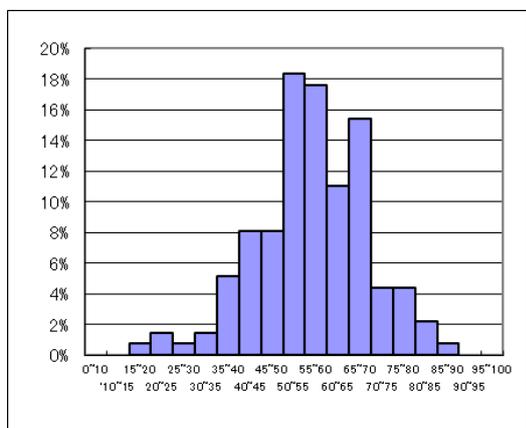
○正答率の経年変化

平成23年度 55.3% → 平成24年度 56.8%

○学校ごとの正答率の分布

平成23年度

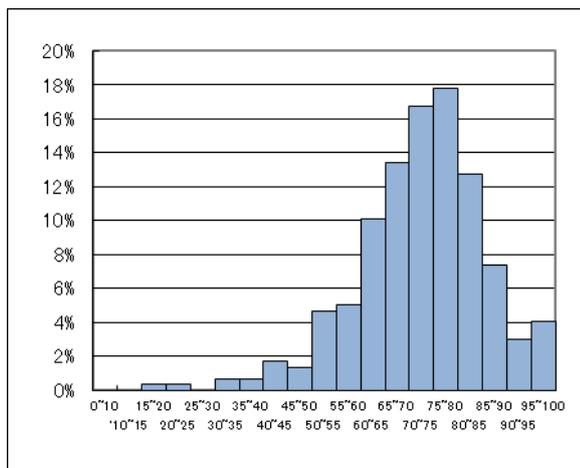
平成24年度



昨年度と比較して、正答率40%未満の学校が減り、正答率70%を超える学校が増えている。さらに、比例の関係をグラフに表すことの実定着を図っていききたい。

(2) 記述に関わる基本的な問題について

<小学校5年国語【三】> 正答率71.9%



次の二つの文を、全体の意味を変えずに一つの文にしましょう。

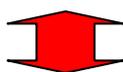
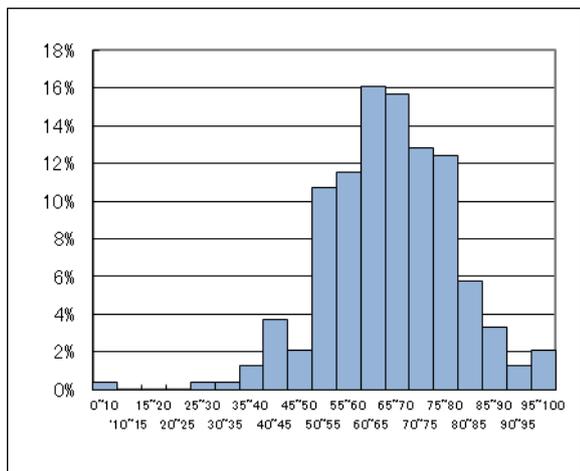
毎日、校庭を走ってトレーニングをした。

だから、マラソン大会で一位になった。

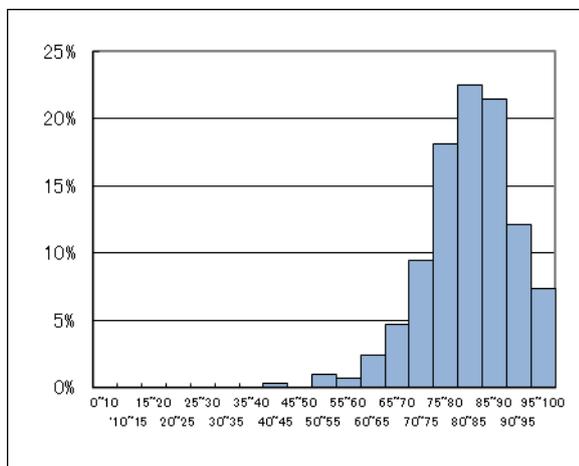
正答率は71.9%と多くの児童が一つの文にできている。15%~100%まで広い範囲にちらばり、学校による差がみられる。誤答例をみると、題意がつかめていない児童や逆接でつないでしまう児童が2割程いる。接続語の種類と働きを確認し、一文を二文にしたり、二文を一文にしたりといった、文と文がどんな関係になるかを考え表現する学習を進めたい。さらに、日記など日常的に文章を書くなどの活動も大事にしたい。

(3) 同一問題による比較について

<小学校4年算数【3】> 正答率66.1%

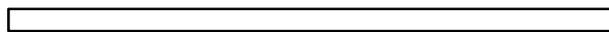


<小学校5年算数【4】> 正答率81.5%



テープが2本ある。テープの長さは、次のようになっています。

- ・赤色のテープの長さは4m
- ・黄色のテープの長さは12m



黄色のテープの長さは、赤色のテープの長さの何倍ですか。求める式と答えを書きましょう。

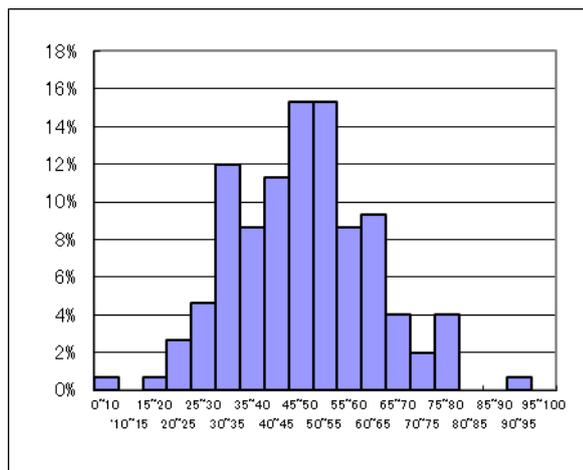
除法の意味について児童がどう理解しているかをみる問題を、4、5年で実施した。

4年では、学校ごとの正答率が全範囲に広くちらばっており、多くの階級の割合が、10%~16%となっている。誤答例をみると、「比べる量」や「もとにする量」がつかめない児童が2割程いる。「~は~の何倍」という数量の関係を調べ、式に表すという学習活動を取り入れながら理解を深めた。

また、5年では、右寄りの分布となっており、正答率が70%~100%の範囲に集まっており、4年と比べて学校ごとの差が小さい。線分図などに数量を表して関係を調べるなどの「学び直し」の成果がみられる。教科の特性である系統性を考慮しながら、徐々に理解を深めていく子どもの学びに寄り添い、様々な単元や領域において線分図などに数量の関係を表す算数的活動を取り入れて授業改善を進めたい。

(4) 学校ごとの正答率の分布に特徴がある問題について

<中学校2年英語【1】> 正答率46.4%



Are you ①(enjoy) your school life now?
 下線部①の () 内の語を、最も適切な形になおして、1語で書きなさい。

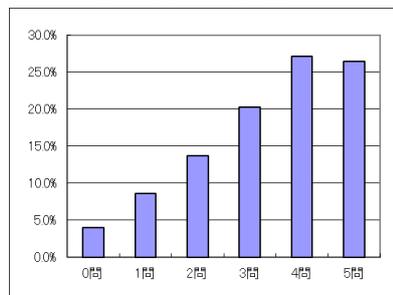
学校ごとの正答率が0~95%の範囲でちらばっている。誤答例をみると、enjoyの語尾の「y」をとってしまったり、「ed」をつけてしまったりした誤答が2割程いる。昨年度、現在進行形の肯定文の問いに対しては53.4%の正答率であったが、疑問文の問いになったことで正答率が下がったと考えられる。肯定文・疑問文の言い換えや口頭練習を生活場面と関わらせて行う授業場面をつくりたい。

3 正答数の分布

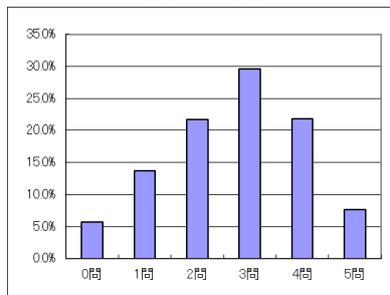
(単位%)

| 正答数 | | 0問 | 1問 | 2問 | 3問 | 4問 | 全問 |
|-------|----|------|------|------|------|------|------|
| 小学校4年 | 算数 | 4.0 | 8.6 | 13.7 | 20.2 | 27.1 | 26.4 |
| 小学校5年 | 国語 | 5.7 | 13.7 | 21.7 | 29.5 | 21.8 | 7.6 |
| | 算数 | 2.1 | 6.8 | 15.1 | 23.8 | 29.6 | 22.6 |
| 中学校2年 | 国語 | 0.6 | 3.1 | 9.9 | 24.5 | 38.6 | 23.3 |
| | 数学 | 9.0 | 18.2 | 22.3 | 21.3 | 17.7 | 11.4 |
| | 英語 | 22.4 | 21.7 | 22.6 | 19.0 | 11.3 | 3.0 |

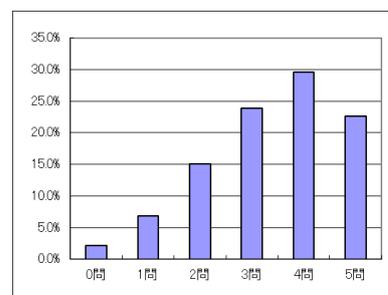
<小学校4年算数>



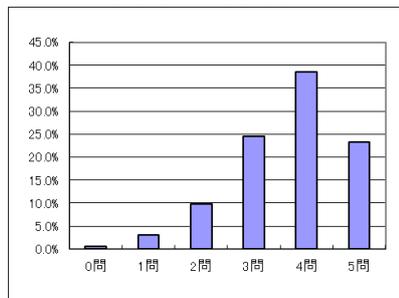
<小学校5年国語>



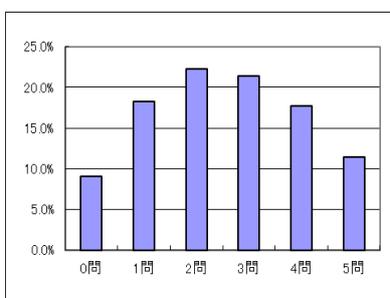
<小学校5年算数>



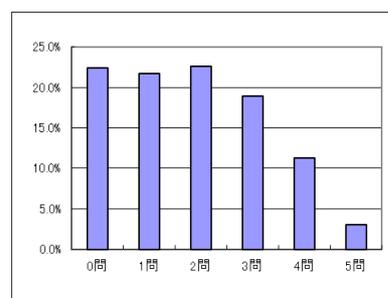
<中学校2年国語>



<中学校2年数学>



<中学校2年英語>



小学校の国語、算数及び中学校の国語は右より、中学校の数学は、ほぼ左右対称の分布となった。各校では、自校の分布と比較することにより、課題を見だし授業改善を進めたい。中学校2年では正答数が0問又は1問の生徒が、数学で3割程、英語では4割程いる。中学校1年後半から学習内容の定着に差が見られるようになるので、個に応じた丁寧な指導が必要となる。日々の授業においても、

基礎的な内容が確実に身につくよう授業改善を進めたい。特に英語では顕著な傾向がみられるが、正答率の低い問4が分布に影響している。誤答例をみると、約4割の生徒は動詞を have、haves としてしまい、動詞を適切な形にして答えることができていない。また、「Koji's school に対して、解答では代名詞 It を使うこと」など、状況に応じた単語の使い方が十分理解できていない生徒もみられる。不規則動詞や三人称単数の主語について、言語活動を丁寧に行いながら慣れさせ理解を深めたい。

4 家庭学習の時間

◇学校の授業時間以外に、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。

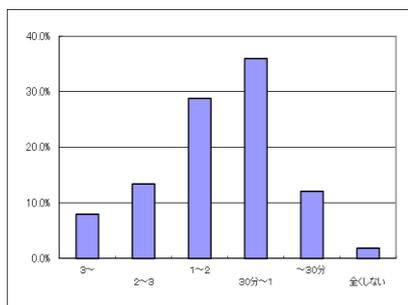
（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 3時間以上 | 2 2時間以上、3時間より少ない |
| 3 1時間以上、2時間より少ない | 4 30分以上、1時間より少ない |
| 5 30分より少ない | 6 まったくしない |

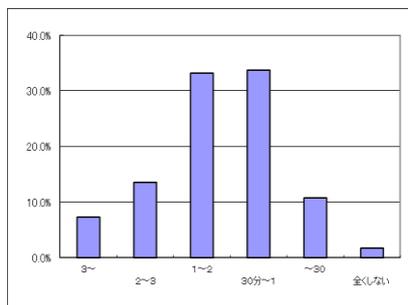
(単位%)

| 選択肢 | 3時間以上 | 2～3時間 | 1～2時間 | 30分～1時間 | ～30分 | まったくしない |
|-------|-------|-------|-------|---------|------|---------|
| 小学校4年 | 8.0 | 13.4 | 28.8 | 35.9 | 12.1 | 1.8 |
| 小学校5年 | 7.3 | 13.5 | 33.1 | 33.7 | 10.7 | 1.7 |
| 中学校2年 | 4.1 | 18.9 | 42.9 | 24.5 | 7.2 | 2.4 |

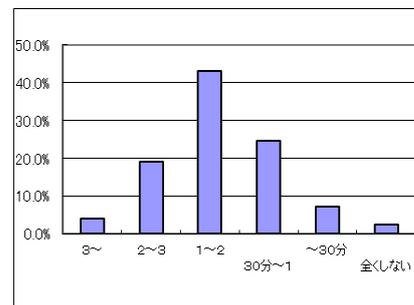
<小学校4年>



<小学校5年>



<中学校2年>



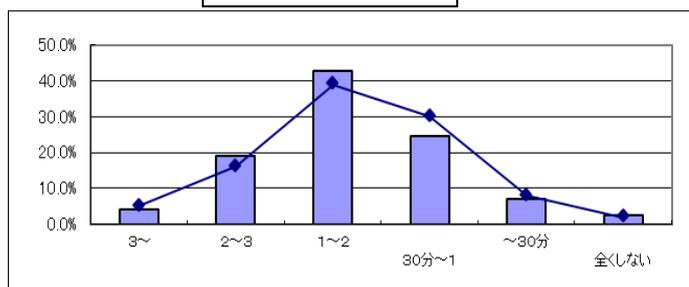
家庭学習の時間が1時間未満である児童生徒の割合が、小学校4・5年で45%、中学校2年で30%を超えている。昨年度と比べると、小・中学校ともに若干減少している。

小学校4年では、30分～1時間、中学校2年では、1時間～2時間の家庭学習を行っている割合が最も高い。小学校5年では、1～2時間と30分～1時間が30%を超える割合であった。

各校では、自校の分布を比較することにより、課題を見だし対応策を立てていきたい。

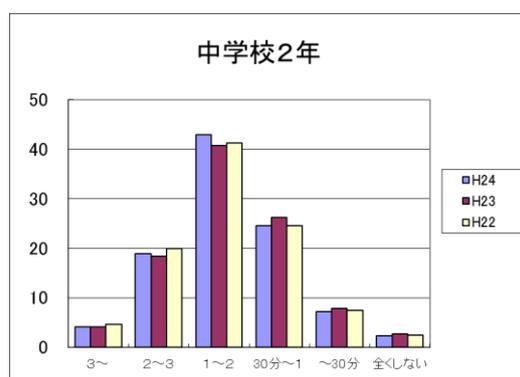
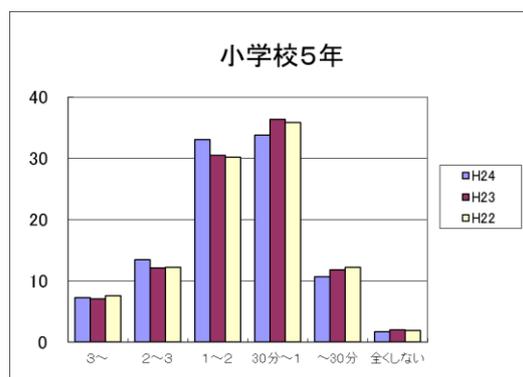
<例> 棒グラフが県平均、折れ線グラフが自校の分布

中学校2年



このように、県平均と比較して、1時間未満の割合が高い学校は、該当する児童生徒に対して、学校と家庭が連携して生活習慣の見返しについてともに考えたり、予習・復習の具体的な方法を助言したりするなど、個に応じた対応策を考えていきたい。

○過去2年間の結果との比較



小学校5年では、1時間未満の児童の割合が減り、1時間以上の割合が増えている。中学校2年では、30分以上1時間未満の生徒の割合が減り、1時間以上2時間未満の割合が増えている。さらに1時間以上の児童の割合を増やしていきたい。

「家庭学習充実研修」を受けて、家庭学習の手引きを作成したり、保護者の協力を求めながら家庭学習の見直しを行ったりするなど、各校の工夫した取組の成果につながっている。また、校内において情報交換や研修の機会を取り入れ、学校全体の課題として取り組んでいる学校もある。今後は、児童生徒に学校からの宿題だけではなく自主的・計画的に家庭学習をする習慣を身につけるようにするとともに、児童生徒の実態を踏まえながら、学習の内容についてもさらに充実していくようにしたい。

※ 家庭学習充実研修・・・昨年5～7月に実施。378校、66.4%の学校が参加。家庭学習の見直しを行った小学校は96.5%、中学校は96.8%。）

5 授業改善等の取組と正答率の関係

以下の点について積極的に取り組んでいる学校においては、学習内容の定着度が高い傾向にある。

- ・「授業がもっと良くなる3観点（ねらい、めりはり、見とどけ）」を意識して授業改善に取り組んでいる。
- ・学校全体で学習内容の定着に向けた指導改善（補充指導・個に応じた指導）に取り組んでいる。
- ・家庭学習の見直しを行い、教師や児童生徒の家庭学習に対する意識を高め、保護者による協力体制を整えてきている。
- ・学力に関する調査等の結果や改善の方向を保護者や地域に説明している。

学習内容を定着させて学力向上を図るためには、調査結果から明らかになってきた課題を当該学年だけではなく全職員が共有し、学校全体として課題解決に向けて取り組みたい。また、学力向上に向けては、家庭との連携も不可欠であることから、調査結果を保護者と共有するとともに家庭学習の見直しなど、具体的な連携を大事にしたい。

正答

平成 24 年度 P 調査問題 小学校 4 年算数 (1)

4 年 () 組 () 番 氏名 ()

(答えはすべて解答らんにかきこまう。)

正答数

問 / 5 問

【 1 】 $6 + 8.4$ を計算しましう。

| | |
|-------|--------------------------------|
| 【 1 】 | 1 4 . 4 |
| 【 2 】 | 1 時間 2 5 分 |
| 【 3 】 | 式 $1 2 \div 4$ 3 倍 |

【 2 】 とも子さんは、午前 9 時 5 0 分に家を出発して、同じ日の午前 1 1 時 1 5 分に動物園に着きました。家を出発してから動物園に着くまでに何時間何分かかりましたか。



家を出発した時刻



動物園に着いた時刻

【 3 】 テープが 2 本あります。テープの長さは、次のようになっています。

・ 赤色のテープの長さは 4 m

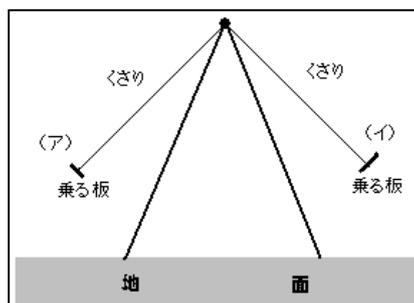
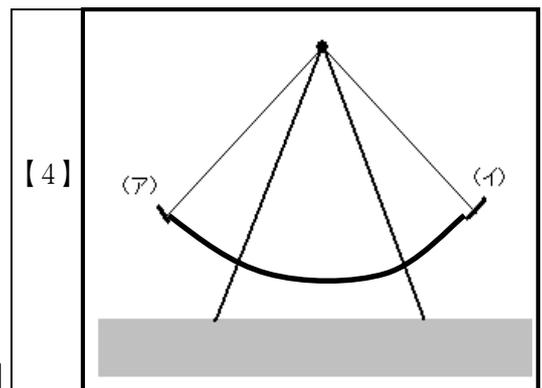
・ 黄色のテープの長さは 12m

黄色のテープの長さは、赤色のテープの長さの何倍でしょうか。

求める式と答えを書きましよう。

【 4 】 さゆりさんは、ブランコで遊んでいる友だちを見て、ブランコの動きの中に、ある図形を見つけました。

ブランコの乗る板が (ア) から (イ) まで動いています。ブランコの乗る板はどのように動いていますか。乗る板の動く線を、右図の中にかき入ましよう。



正答

平成 24 年度 P 調査問題 小学校 4 年算数 (2)

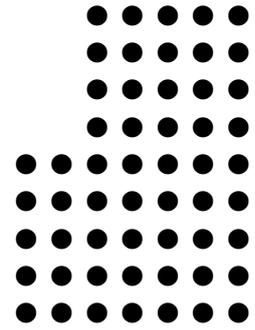
4 年 () 組 () 番 氏名 ()

【5】 右の図のように、おはじきがならんでいます。

まことさんは、ぜんぶのおはじきの数を、2つのかたまりに分けて、九九をつかって(1)、(2)のような式で求めました。

- (1) $5 \times 2 = 10$ (2) $4 \times 5 = 20$
 $9 \times 5 = 45$ $5 \times 7 = 35$
 $10 + 45 = 55$ $20 + 35 = 55$

そして、(1)について、どのようにして考えたのかを、下のようにおはじきを線でかこんで説明しました。



アは、5こずつが2列ならんでいるので、 $5 \times 2 = 10$
イは、9こずつが5列ならんでいるので、 $9 \times 5 = 45$
 全部の数は、**ア**と**イ**をたすから、 $10 + 45 = 55$ になる。

まことさんの説明と同じように、(2)について、下のおはじきを2つのかたまりに分けて線でかこんで、求め方を説明しましょう。

【5】

[説明]

ウは、4こずつが5列ならんでいるので、 $4 \times 5 = 20$
エは、5こずつが7列ならんでいるので、 $5 \times 7 = 35$
 全部の数は、**ウ**と**エ**をたすから、 $20 + 35 = 55$ になる。

◇学校の授業時間以外に、ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。当てはまる番号に○をしましょう。(算数だけでなく、全部の教科の勉強時間です。また、学習じゅくで勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくみます。)

- 1 3時間以上
- 2 2時間以上、3時間より少ない
- 3 1時間以上、2時間より少ない
- 4 30分以上、1時間より少ない
- 5 30分より少ない
- 6 まったくしない

正答例

平成二十四年度 P 調査問題 小学校五年国語(一)

五年() (組) (番 氏名) ()

問一 それぞれの問題に答えましょう。(答えは、すべて解答らん□に書きましょう。)

正答数 問/5問

【一】内山さんは、この俳句はいくを読んだ感想をノートにまとめ、□の部分に対応させて□の言葉をぬき出しました。□に入るふさわしい言葉を、俳句の中からぬき出しましょう。

春風に 光をはじく 風見鶏 かざみどり

〔内山さんがまとめた感想〕
温かくふく春風の中で、風に合わせて向きを変える風見鶏が、春のやわらかな光をきらきらと反しやする様子を、□と
いう言葉で表している。春がきたうれしさが伝わってくる。

光をはじく(はじく)

【二】次の文で主語を示す部ア・イの述語にあたるものを、部A～Dの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えましょう。

健ア一さんは、仕事から帰った お母イさんが 心を込めて A 作った B たくさんの料理を、C おいしく D 食べた。

ア 健一さんは↓ □ D □ イ お母さんが↓ □ A □

【三】次の二つの文を、全体の意味を変えずに一つの文にしましょう。

毎日、校庭を走ってトレーニングをした。だから、マラソン大会で一位になった。

毎日、校庭を走ってトレーニングをしたから、マラソン大会で一位になった。

【四】次は、新聞委員の西村さんが、運動会に行われた種目「はたひろい」の様子を伝えた、学校新聞の記事の下書きの一部です。――部を「来入児が」を主語にして書きかえます。あとの□の中に入るふさわしい内容を、意味を変えないようにして書きましょう。

【西村さんの下書きの一部】

元気いっぱい はたひろい！

九月十八日の運動会では、休けいひやすみの後に「はたひろい」がありました。入場のアナウンスのあと、六年生が、来入児の手を引いて、グラウンドに入場してきました。校庭いっばいに、はく手がひびきました。来入児はみんな、ここにこ笑顔で元気よく歩いていました。～(下書きが続く)～

来入児が、
六年生に手を引かれて、
グラウンドに入場してきました。

五年()組()番 氏名()

問二 五年二組の山田さんの学級は、市内のドッジボール大会に出場します。この大会で応えんに使う旗をつくることになりました。次は応えんに使う旗に書く言葉を決めるために話し合っている様子の一部です。読んで、あとの問いに答えましょう。

【山田さんの学級で話し合っている様子の一部】

山田(司会) (議題についての説明) ()

まず、横山さんと木村さんに提案をしてもらいます。二人の提案をもとに話し合いを進めていきましょう。それでは先に横山さん、次に木村さんの順でお願いします。

横山 私が考えたのは、Aの旗です。大会で、学級目標の「力を合わせてやりとげよう」の達成をめざせるように、この言葉を大きく書くとよいと考えました。

木村 ぼくが考えたのは、Bの旗です。学級目標の達成のために、「心を一つに」を合い言葉にして大きく書いたらよいと思いました。

山田(司会) 横山さんの提案と木村さんの提案を聞くと、共通する点は、旗の中に、大切にしたい言葉を大きく書くということです。

ちがう点は、
という点です。

それでは、どのような言葉を書くかということについて話し合っていきます。

(話し合いが続く)

【五】司会の山田さんは、出された発言に合わせて話し合いを進めています。の発言は、横山さんの意見と木村さんの意見に共通する点とちがう点を整理したものです。に入るふさわしい内容を、次の条件に合わせ、発言の前後の言葉につながるようにつけて書きましょう。

〈条件〉

- 次の [] の三つの言葉の中から二つ使って書くこと。
- 二十字以上、三十字以内にまとめて書くこと。

- ・学級目標
- ・文字の色
- ・合い言葉

(例)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| の | に | 入 | れ | る | 言 | 葉 | を | 学 | 級 | 目 | 標 | そ | の | も |
| に | す | る | か | 、 | 合 | い | 言 | 葉 | に | す | る | か | | |

20

30

力を合わせて
やりとげよう

5年2組

A 横山さんの案

心を一つに

5年2組

B 木村さんの案

正答

平成 24 年度 P 調査問題 小学校 5 年算数 (1)

5 年 () 組 () 番 氏名 ()
 (答えはすべて解答らんにかきなさい。)

正答数

問 / 5 問

【 1 】 $1.4 + 3$ を計算しましょう。

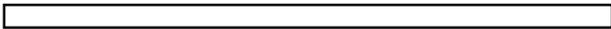
【 2 】 $40 + 160 \times 2$ を計算しましょう。

【 3 】 下の小数と分数を、小さい順に左からならべましょう。

$$\left[\frac{8}{10}, 1\frac{3}{10}, 0.7 \right]$$

【 4 】 テープが 2 本あります。テープの長さは、次のようになっています。

・ 赤色のテープの長さは 4 m 

・ 黄色のテープの長さは 12 m 

黄色のテープの長さは、赤色のテープの長さの何倍ですか。求める式と答えを書きましょう。

| | |
|-------|--|
| 【 1 】 | 4. 4 |
| 【 2 】 | 3 6 0 |
| 【 3 】 | 小さい順に $0. 7, \frac{8}{10}, 1\frac{3}{10}$ |
| 【 4 】 | 式 $1 2 \div 4$ ----- 答え 3 倍 |

正答

平成 24 年度 P 調査問題 小学校 5 年算数 (2)

5 年 () 組 () 番 氏名 ()

- 【5】 ただしさんは、「 15×14 の計算は、筆算をしなくても、かけ算だけを使って何十をつくって考えると、かんたんに計算できる。」と言って、右のようにやり方を説明しました。
- では、 25×12 の計算は、どのようにやり方を工夫できますか。その計算の工夫を の中に、ただしさんのように式で書きましょう。

ただしさんの計算の工夫

$$\begin{aligned} & 15 \times 14 \\ & = 15 \times 2 \times 7 \\ & = 30 \times 7 \\ & = 210 \end{aligned}$$



| | | | |
|-----|--|---|--|
| | 〔 25×12 の計算の工夫〕 | | |
| 【5】 | <p>(正答例 1)</p> $\begin{aligned} & 25 \times 12 \\ & = 25 \times 4 \times 3 \\ & = 100 \times 3 \\ & = 300 \end{aligned}$ | <p>(正答例 2)</p> $\begin{aligned} & 25 \times 12 \\ & = 25 \times 2 \times 6 \\ & = 50 \times 6 \\ & = 300 \end{aligned}$ | <p>(正答例 3)</p> $\begin{aligned} & 25 \times 12 \\ & = 5 \times 5 \times 2 \times 6 \\ & = 5 \times 2 \times 5 \times 6 \\ & = 10 \times 30 \\ & = 300 \end{aligned}$ |

◇学校の授業時間以外に、ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。当てはまる番号に○をしましょう。(算数だけでなく、全部の教科の勉強時間です。また、学習じゅくで勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくみます。)

- 1 3時間以上
- 2 2時間以上、3時間より少ない
- 3 1時間以上、2時間より少ない
- 4 30分以上、1時間より少ない
- 5 30分より少ない
- 6 まったくしない

(答えは、すべて解答欄かいとうらんに書きなさい。)

正答数

問/5問

問一 次の問いに答えなさい。

【一】 次の文の□に入る言葉として、1から4のうち、どれが最も適切ですか。一つ選び、記号で答えなさい。

昨日、ピアノの先生が、家に□
ました。

- 1 いただき 2 うかがい 3 いらっしゃい 4 ください

3

問二 生活委員会では、「あいさつ週間」で取り組むことについて話し合いました。次は、その一部です。司会は森さんです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

森(司会) 「あいさつ週間」に、委員会として何をすればよいか、意見を出してください。意見を述べる時は、理由もあわせて言ってください。

木下 私は、委員が昇降口に立ってあいさつをする、「あいさつ当番」を決めて、一週間あいさつを呼びかければよいと思います。委員が先頭に立ってあいさつすれば、全校のみんなも、いっしょにあいさつをしてくれると思うからです。

川上 ぼくは、「あいさつ当番」に反対です。それよりも、ポスターをかいて、校舎のあちこちに貼はって呼びかけるとよいと思います。そうすれば、全校のみんながポスターを見て、あいさつを意識できると思うからです。

森(司会) □
A

【二】 司会の森さんは、川上さんの発言の内容に不足があると感じ、川上さんに□Aのように問いかけました。最初の森さんの発言を参考にして、□Aに入るのに最もふさわしいものを、次の1から4の中から選び、記号で答えなさい。

- 1 あいさつで大事なことは何ですか。
2 なぜポスターをかくのですか。
3 「あいさつ当番」に反対する理由は何ですか。
4 だれがあいさつを意識するのですか。

3

問三 国語の授業で「お気に入りの場所」というテーマで文章を書いています。次は、黒田さんが最初に書いた文章【A】と、それを読み返し、**3**段落を書き直した文章【B】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【A】

【B】

1 私のお気に入りの場所は、家の近くにある夕焼け公園です。

2 大きな公園ではありませんが、噴水ふんがあり、緑に囲まれた静かな所です。

3 私がこの公園を好きな理由は二つあります。一つ目は、小さいころからの思い出が詰まった場所だからです。二つ目は、とても見晴らしがよくて、町を一望できる点です。

私がこの公園を好きな理由は二つあります。一つ目は、小さいころからの思い出が詰まった場所だからです。友だちとブランコに乗ったり、ケヤキの下のベンチでおしゃべりしたりしました。二つ目は、とても見晴らしがよくて、町を一望できる点です。特に、夕日がしずんでいくときの風景は美しく、時のたつのも忘れて見入ってしまいます。

【三】 黒田さんは**3**段落をどのように書き直していますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選び、記号で書きなさい。

- 1 具体的な内容を増やして、自分の感じたことを分かりやすく伝えている。
- 2 友達の言葉を多く引用し、自分の気持ちの変化を具体的に説明している。
- 3 他の場所と比較して、自分の伝えたいことを分かりやすくしている。
- 4 比喩ひゆを用いて書き換え、自分が感じたことを分かりやすく伝えている。

1

問四 次の文章は「私」が電車に乗って体験したことを書いた随筆ずいひつの一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

（ここまでのあらすじ）

「私」が祖父の家に行くために乗った電車の車両に、空きかんが一つ転がっていた。でも、だれもそれを拾おうとしなかった。

電車が止まった。若い男の人が立ったと思うと、空きかんをさっと拾い上げて、そのまま持って降りた。「え。」と思ったしゅんかんに、ドアが閉まった。窓から見ていると、その人は、手に持った空きかんを無造作むぞうさくにごみ箱に入れて歩いていった。かつこよかった。〜（話が続く）〜

（光村図書 国語六 創造「自分を見つめ直して」より）

【四】 線部「無造作」とありますが、この言葉の意味として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- 1 やる気のない様子
- 2 関係がない様子
- 3 わきまえない様子
- 4 気軽に行く様子

4

問五 南川さんの通う第八中学校の文化祭実行委員から次のような呼びかけがありました。これを読んであとの問いに答えなさい。

【文化祭実行委員からの呼びかけ文】

第八中学校文化祭テーマ募集
～地域とともにつくる八中祭のために～

第八中学校 文化祭実行委員会

第51回八中祭では「チャレンジ八中」と「八中音楽祭」という新企画を考えています。「チャレンジ八中」は、地域の方を講師に招き、私たちが受講生となって、太鼓やそば打ちなど、地域の芸能文化や食文化になどについて学ぶ講座です。「八中音楽祭」は、毎年行われてきた校内合唱発表会を拡大し、地域の合唱や琴などのサークルのみなさんを招き、いっしょに楽しもうというものです。

これまで八中祭は、自分たちで行い楽しむという企画が多かったのですが、もっと地域を知り、地域を学び、地域とつながるものにしたいと願い、2つの新企画を考えました。

そこで、これらの新企画や願いを踏まえた八中祭のテーマを募集したいと思います。

テーマは、できるだけ短い言葉で、印象的に、地域の方にも分かりやすいものになるようお願いします。

この呼びかけを受けて、南川さんは次の二つの案を考えました。

A

集え 八中へ 地域とのつながりを求めて

B

八中祭は変わります へチャレンジ八中・八中音楽祭へ

【五】あなたなら、A・Bのどちらがよいと思いますか(どちらを選んでもかまいません)。あなたの考えとその理由を、あとの条件1から条件3にしたがって書きなさい。

条件1 AとBを比べて書くこと。

条件2 文化祭実行委員会からの呼びかけ文の中にある、企画や願いについての言葉を使って書くこと。

条件3 三文で書くこと。

呼びかけの文章には「地域とつながるものになりたい」という願いが示されており、Aの標語は、それを「地域とのつながりを求めて」という言葉で表現している。Bの標語は、新企画のことが示されているが、「地域とつながる」ことを表現していない。だから、私はAの標語を選ぶ。

正答

平成 24 年度 P 調査問題 中学校 2 年数学 (1)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

正答数

問/5 問

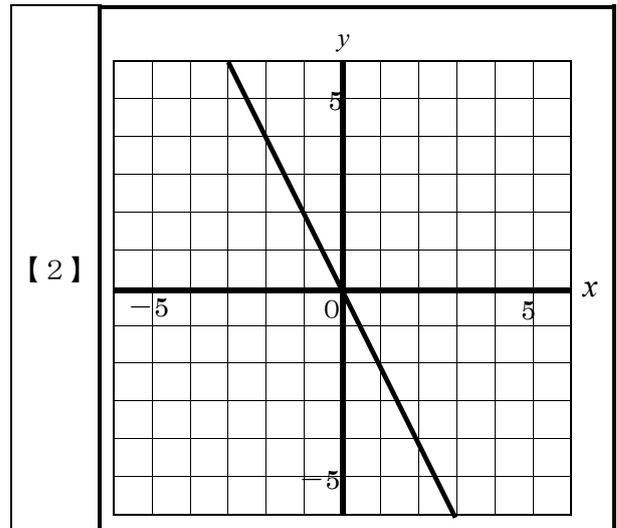
(答えは全て解答らんには書きなさい。)

【1】 $18 - 12 \div (-3)$ を計算しなさい。

【1】

2 2

【2】 比例の関係 $y = -2x$ のグラフをかきなさい。



【3】 一次方程式 $2x - 1 = x + 1$ の解を求めるために、左辺 $2x - 1$ と右辺 $x + 1$ の x に、 -2 から 4 までの整数をそれぞれ代入して、左辺と右辺の値を調べました。

| | 左辺 $2x - 1$ の値 | 右辺 $x + 1$ の値 |
|--------------|----------------|---------------|
| $x = -2$ のとき | -5 | -1 |
| $x = -1$ のとき | -3 | 0 |
| $x = 0$ のとき | -1 | 1 |
| $x = 1$ のとき | 1 | 2 |
| $x = 2$ のとき | 3 | 3 |
| $x = 3$ のとき | 5 | 4 |
| $x = 4$ のとき | 7 | 5 |

【3】

イ

この方程式の解について、下のアからエまでの中から正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

ア $x = 2$ のとき、左辺と右辺の値はともに3になるので、3はこの方程式の解である。

イ $x = 2$ のとき、左辺と右辺の値はともに3になるので、2はこの方程式の解である。

ウ $x = 2$ のとき、左辺と右辺の値はともに3になるので、2と3はこの方程式の解である。

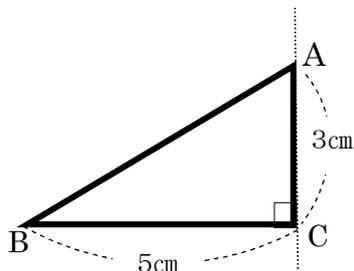
エ -2 から 4 までの整数の中には、この方程式の解はない。

正答

平成 24 年度 P 調査問題 中学校 2 年数学 (2)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

【4】 下の図のような直角三角形ABCを、直線ACを軸として1回転させて立体をつくります。できる立体の体積を求めなさい。ただし、円周率は π とします。

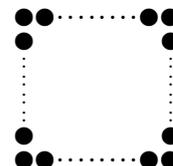


| | |
|-----|--------------------------|
| 【4】 | 25 π cm ³ |
|-----|--------------------------|

【5】 右の図のように1辺に同じ個数のご石を並べて、正方形の形をつくります。

山本さんは、1 辺に並べるとご石の個数を x 個として、全体のご石の個数を、 $4x - 4$ (個) と $4(x - 1)$ (個) の2つの式で表しました。

そして、 $4x - 4$ (個) について、どのようにご石を囲んで考えたのかを、下のように説明しました。



【説明】 $4x$ の x は、左の図の ○ のことです。
それが4つあるので4倍します。
4 を引くのは、○でご石の数を数えると四隅のご石を2回数えてしまうからです。
だから全体のご石の個数は、 $4x - 4$ (個) と表せます。

$4(x - 1)$ (個) について、どのようにご石を囲んで考えたのかを、上の説明を参考にして説明しなさい。(囲んだ部分が分かるように図に○をかき込むこと)

【5】

【説明】
 $4(x - 1)$ の $x - 1$ は、左の図の ○ のことです。
それが4つあるので4倍します。
だから全体のご石の個数は、 $4(x - 1)$ (個) と表せます。

◇学校の授業時間以外に、ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。当てはまる番号に○をしましょう。(数学だけでなく、全教科の学習時間です。また、学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 3時間以上 | 2 2時間以上, 3時間より少ない |
| 3 1時間以上, 2時間より少ない | 4 30分以上, 1時間より少ない |
| 5 30分より少ない | 6 まったくしない |

正答

平成 24 年度 P 調査問題 中学校 2 年英語

正答数

問/5問

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

次の英文を読んで、下の問いに答えなさい。(答えは、すべて解答欄に書きなさい。)

< 中学 2 年生になった浩司 (Koji) がカナダにいるペンフレンドのマイク (Mike) に出した手紙です。 >

April 10

Dear Mike,

Thank you for your letter. Are you①(enjoy) your school life now?

In Japan, school starts in April. So I'm very busy every day, but I like my school life with my friends.

In our school, we have about 300 students and 16 teachers. We have five or six classes each day. My favorite subject is science. It's not easy, but it's very interesting. So I study it hard every day. Do you like science?

I usually go to my club after school. I'm in the computer club. I use a computer every day, but ②(well / it / can't / very / use / I). So I practice it very hard. What do you usually do after school?

Please tell me about your school life.

Your friend,

Koji

[注] letter: 手紙 life: 生活 start: 始まる club: クラブ、部
usually: ふつう practice: 練習する tell me~: 私に~を教える

【1】 下線部①の () 内の語を、最も適切な形になおして、1 語で書きなさい。

【2】 下線部②が意味の通る英文になるように、() 内の 6 語を並べかえて書きなさい。

本文の内容について、次の質問に英語で答えなさい。答えは () 内に 1 語ずつ書きなさい。

【3】 Does Koji like science very much?

(), () ().

【4】 How many students does Koji's school have?

It () () () ().

【5】 あなたがふだん放課後にすることを 1 つ取り上げて After school, に続けて英語で 1 文書き、そのことについてのあなたの考えや気持ち、付け加えの事実などを英語で 1 文書き加えなさい。

[解答欄]

| | | | |
|-----|---|-----|---------------------------|
| 【1】 | enjoying | 【2】 | I can't use it very well. |
| 【3】 | (Yes), (he) (does). | | |
| 【4】 | It (has) (about) (300) (students). | | |
| 【5】 | (解答例) After school, I play tennis. ----- I like it very much. | | |